

# 親子聖書日課

NO.1675 2020.11/1-7

名前

[日]ユダの人々は現象から神を見ようとして偶像礼拝にのめり込んだのに対して、エレミヤは神の言葉から歴史の動きをみました。主の言葉だけが実現しますから、主の嫌われることは、今すぐ捨てて、主に従いましょう。人生は祝福されます。

[月]バルクはエレミヤの書記として、苦難を共にしたので、疲れ果てました。それに対する主の答えは、「あなたの命だけは、どこへ行っても守る」と云われました。裁きの時、多くの人が命を失う中で、神に従ったバルクの命は救い出されたのです。

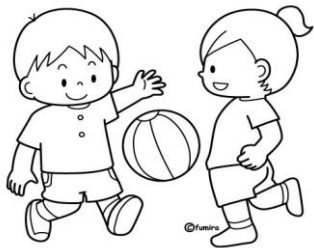
[火]紀元前605年、ユーフラテス川で史上最大の戦闘があり、バビロン軍がエジプト軍に勝利します。エジプト軍が負けたのは「恐怖が四方から迫った」からです。人は恐怖には勝てませんが、死に勝利された主を信じる時、恐怖は除かれます。

[水]主は今も「剣を取られ」ます。それは罪人を滅ぼすためだけでなく、罪を断ち切って清い主の民を造るためです。その主の剣とは御言葉です。御言葉は説明するものでなく、相手の心に切り込むものです。必ず、悔い改める人が起こさるでしょう。

[木]世の中、頼りになるのは、自分の力と金だと思う人はいませんか。モアブは「自分の業と富に頼った故に」滅ぼされました。全ては主の恵みによります。自分の力に頼らず、主に頼りましょう。決して罪に心が「占領される」ことはありません。

[金]モアブは地理的条件がよく、戦いの渦の外にいて、うまく立ち回り、富を蓄積し、知恵を誇り、高ぶりましたから滅ぼされました。戦後の日本は、似ていませんか。主のみ前にへりくだって、神中心に生きることこそ、「繁栄を回復する」道です。

[土]アンモンは水源と財宝、エドムは知恵に頼りました。しかし、それは彼らを救いません。今も国々は経済力や技術力、政治力や軍事力に頼って生きようとします。しかし、本当に頼るべきは、主です。「深い谷」神のふところこそ、唯一の避け所です。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 44:20-30	主は悪行や忌むべきことをもはやどうすることはできませんか。	
月	45:1-5	主は建てたものを、どうされますか。	
火	46:1-28	何が四方から迫ると主は言われましたか。	
水	47:1-7	災いだ、主は何を取られましたか。	
木	48:1-20	自分の何と何に頼ったゆえに、お前もまた占領されますか。	
金	48:21-47	モアブが滅んだのは、主に向かってどうしたからですか。	
土	49:1-22	逃げよ、退け、どこに隠れるべきですか。	
感想と祈りの課題			